

学校法人 尚絅学園 広報誌
SHOKEI EDUCATIONAL INSTITUTION
PUBLIC INFORMATION

礎

ISHIZUE

2005.Autumn vol.05

尚絅学園街角パフォーマンス 尚絅が、まるごと街に飛び出します!

尚絅学園の日

会場 熊日びくれす広場
とき 平成17年11月26日(土)

誰もが自由に見学・参加できます!マンドリンコンサート、「書」のパフォーマンス、
学園のアカデミックな雰囲気と学生・卒業生(花桜会)たちの元気をご覧ください。
尚絅を目指す方への進路相談、栄養や子育てに関する相談コーナーもあり!
お問い合わせの上、ぜひ尚絅の心意気をご覧ください。



相談体験コーナー

「進路、栄養、子育て相談」
「俳句教室」
「一字書体験、ちよこつと英会話など」

展示コーナー

「生活科学部のポスター、ろうけつ染め」
「美術部作品、子育て支援パネルなど」

ビデオ放映コーナー 学園紹介

午前の部

- 10時30分オープニング(ビエントの演奏)
- 尚絅高校ギター・マンドリン部演奏
- 尚絅大学のカナダ人の先生と
会場の方々の問答
- 尚絅中学生のタップダンス

午後の部

- 「書」のパフォーマンス(尚絅高校)
- 尚絅高校OGによる
マンドリン演奏とビエントの競演
- 「書」のパフォーマンス(尚絅大学)
- 英語暗唱(尚絅中学)
- 尚絅大学のアメリカ人の先生と
中学生及び高校生との問答
- 「ちよこつと」(花桜会)
- 16時フィナーレ(ビエントの演奏)

学校法人 尚絅学園

〒862-8678 熊本市九品寺2丁目6番78号 TEL.096(364)0116 FAX.096(363)6520
尚絅大学 <http://www.shokei-gakuen.ac.jp/shokeicol/> 尚絅高等学校 <http://www.shokei-gakuen.ac.jp/shokeih/>
尚絅短期大学 <http://www.shokei-gakuen.ac.jp/shokeitandai/> 尚絅中学校 <http://www.shokei-gakuen.ac.jp/shokeij/>



◎巻頭特集	巻頭
平成18年4月開設予定の 生活科学部 栄養科学科について	
平成16年度決算報告	06
平成17年度予算概要	08
平成18年度選考日程のお知らせ	09
キャンパス イベント レポート	10
【尚綱学園史】尚綱学園にある絵画(2)	12
エッセイ「捨てたら得をする」	13
尚綱学園の日開催	巻末

○新設 「平成18年4月開設予定(設置認可申請中)」尚綱大学

生活科学部・栄養科学科

生活科学部栄養科学科の新設に臨んで

本尚綱学園は、今は遙か1888(明治21)年に開設された済々黌附属女学校を源とし、創設以来「知徳併進」を建学の精神として、知育・徳育・体育を重んじ良妻賢母の育成を主な目的に掲げ、熊本地域の女子教育に大きく貢献してきました。1929(昭和4)年には、「尚綱、貞操、敬愛、勤儉、報恩」の五か条を学園の精神として制定し、太平洋戦争後間もない1952(昭和

27)年には、地域政府の要請もあつて家政教育のための熊本女子短期大学を、1969(昭和43)年には同短期大学に幼児教育科を設置し、1972(昭和47)年には国文、英文の2学科からなる文学部単科の尚綱大学を新設すると共に熊本女子短期大学を尚綱短期大学と改称し、中学校・高校・短期大学・大学を擁する女子総合学園として現在に至っております。

我が国は、太平洋戦争後アメリカ合衆国の強い指導と影響力の下に、幸いにもめざましい復興を遂げ、経済大国の仲間入りを果たしました。しか

し、その間人々は物質文明を享受するあまり、大切な日本古来の美風を忘れ、人間として不可欠な心さえ失われつつあります。第一次資源をほとんど産出し得ない我が国にとって、日本の人々に今強く求められていることは、正に「尚綱、貞操、敬愛、勤儉、報恩」を深く問い直し、これらを全人的に全うすべく努力すべきであります。また、男性が女性に良妻賢母を求めたのであれば男性はもとより良夫賢父でなければならず、それなくしては、現在我が国で急がれている男女共同参画社会の実現など望むべくもありません。

栄養管理のスペシャリストの養成

このような観点に立脚し、本学園にありましては2か年来、学園の改革に努めて参りました。現

代及未来を厳しく見据え、前述の建学の精神を維持しつつ、「文化と生活」に力点を置いた教育と研究を近代的に展開し、社会にあつては自立的かつ主体的な活動を通して社会貢献を果たし、家庭にあつては良き妻、賢き母として常に自己責任を自覚し家庭を健全に営み得る女性の育成をめざすことといたしました。このような方向性の実現こそが、これまで蓄積された本学園の人的及び物的資産を有効に活かす道であると考えるからであります。尚綱大学に新に生活科学部栄養科学科を新設しますのは、正に尚綱学園改革の一環であります。

現在の尚綱学園が負う最大の課題点は、小中高等教育から高等教育までを営んでいる総合的学

擁し、地域の社会的要請もなお高い短期大学へは例年尚綱高等学校からの進学者は数多く、或る程度の一貫性は確保されてきました。しかし、文学部単科の大学につきましては、選択肢が限定され、尚綱短期大学からの編入学は言うまでもなく、尚綱高等学校からの進学も多くを望むことはできません。学園としては、これらの点を深く問い、かねてより教育の一貫性を発展させるべく努力して参りました。

まず第一に、将来の社会的ニーズに応えるべく、短期大学に専攻科食物栄養専攻を1996(平成8)年に設置しましたのは、この専攻科を核として管理栄養士の養成を主目的とする4年制の学部学科の設置を意図したものであります。前理事長外村次郎先生はこの計画の実現をことのほか強く望まれましたが、この計画の実現を機

に尚綱学園の高等教育体制を抜本的に見直し、学園の将来の発展を期して、従来の文学部及び短期大学を同時に改革することといたしました。今回は、施設の新設を伴い、学園改革の柱とも言うべき、2006(平成18)年4月開校予定の生活科学部栄養科学科を本誌特集として紹介することといたしました。

この尚綱大学生活科学部栄養科学科は年次定員70名、3年次編入定員10名、収容定員300名を予定しております。また、単に管理栄養士の養成にとどまることなく、栄養管理のための高い知識と技術を備え、社会の変化と時々の社会的要請にこたえて幅広く社会に貢献できる栄養管理のスペシャリストの養成をもめざします。

尚綱学園理事長 江口 吾朗





4年間の教育内容

教養教育課程

柔軟な発想と探求心、情報収集能力とそれを踏まえて自ら考え判断する力、そして自ら意志を表現する力を身につけ、社会で行動を続ける学生を育成します。

1 大学生活の中で必要な目的意識の明確化

基礎セミナー「男女共同参画入門」などで、大学で何をすればいいか、将来像を考え、大学生活の目的を明確にします。

2 国際社会で生きる日本人として必要な、基礎的な表現力の修得

将来、社会に出て活躍する学生が身につけるべき基礎的な表現力として、情報検索、情報機器の使い方、英語コミュニケーション能力、文章表現能力の習得をめざします。

3 グローバルな視点を持ち、日本社会や文化に精通するための幅広い知識と、それに基づいた認識力と分析力の修得

専門教育課程

人材育成の目的を踏まえた上で、専門の骨格を正確に把握させるため、基礎・基本を重視するとともに、管理栄養士の専門性を高めることをねらいとします。また、その基礎となる「専門基礎分野」、高度な知識や技術を修得するための「専門分野」に大別して編成しています。

1 専門基礎分野

社会・環境と健康

人間や生活についての理解を深め、社会や環境と健康の関わりについて理解を深めます。

人体の構造と機能及び疫病の成り立ち

人体の構造や機能を系統的に理解するとともに、主要疾患の成因、病態、診断、治療等を理解します。

食べ物と健康

食品の各種成分や人体に対する栄養面や安全面等への影響、評価を理解します。

2 専門分野

基礎栄養学

栄養とは何か、また、その意義について理解することを教育目標とします。

応用栄養学

身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の考え方を理解することを教育目標とします。

栄養教育論

食と健康の問題を総合的に理解し、健康・栄養状態、食行動、食環境などに関する情報の収集・分析・評価・判定の能力を養い、対象に応じた栄養教育プログラムの作成・実施を総合的にマネジメントできるような健康・栄養教育の理論と方法を修得します。また、行動科学やカウンセリングの理論・応用について学ぶことを教育目標とします。

臨床栄養学

傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて適切な栄養管理を行うため、栄養ケアプランにおける総合的なマネジメントの考え方とその具体的方法について修得します。さらに、医療・介護制度やチーム医療における管理栄養士の役割について理解することを教育目標とします。

公衆栄養学

地域や職域等における保健・医療・福祉・介護システムの中で、適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの作成・実施・評価についての総合的なマネジメント能力の修得を教育目標とし、社会的資源の活用、栄養情報の管理、コミュニケーションの管理などの仕組みについて理解します。

給食経営管理論

給食運営や関連資源を総合的に判断し、マーケティングの原理・応用の理解とともに、組織管理などのマネジメントの基本を修得して栄養面、安全面、経済面全般のマネジメント能力を養うことを教育目標とします。

総合演習

適正な栄養評価や栄養管理を行うため、専門分野を横断した演習を通して専門分野の教育内容ごとに修得した知識・技能を統合する能力を修得します。

臨地実習

学内で修得した知識・技術を栄養管理の実践の場に適用し、理論と実践を結びつけ、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要な専門知識及び技術の統合を図ることを教育目標とします。

卒業研究

将来の実践活動に対応できる情報収集、分析、応用、展開する能力や主体的な思考力や判断力を伴った研究的態度を養うことを教育目標とします。



117年の女子教育の歴史に裏付けられた 栄養科学科の教育の特色

1 人間性豊かな管理栄養士の養成

我が国は、戦後めざましい復興を遂げ、経済大国の仲間入りを果たしました。しかし、最近の様々な事件等に見られますように、人々は物質文明を享受するあまり、大切な日本古来の美風を忘れ、人間として不可欠な心さえ失われつつあります。このような時代だからこそ、本学が理想とする「尚綱、貞操、敬愛、勤儉、報恩」を軸にして、豊かな人間性をもった管理栄養士を養成します。

2 医療チームの一員として活躍できる管理栄養士の育成

医療人としての高い専門知識と技能を持つとともに、豊かな人間性をも身につけ、医師、看護師、薬剤師等とともに、医療チームの一員として十分な責任を果たし得る実力の管理栄養士を育成します。

3 幅広く社会に貢献できる栄養管理のスペシャリストの育成

単に管理栄養士の育成にとどまらず、栄養管理のための高い知識と技術を備え、他の資格や様々な職場で必要とされる、栄養管理のスペシャリストを育成します。

4 「食育」のための、人間性豊かな栄養教諭を育成

最近、食生活の乱れが生活習慣病の原因として注目されています。その影響は子供たちにも及び、生活習慣病の低年齢化を招いています。そのため、政府も望ましい食習慣の形成を進めており、本学でも豊かな人間性を持った栄養教諭を育成します。

5 県内トップクラスの実績に裏付けられた新学部の設置

専攻科の管理栄養士国家試験合格者数は、短大としては九州でもトップクラスであり、また熊本県下の栄養士の70%以上を、短大家政科食物栄養専攻の卒業生が占めています。下の表は、専攻科（短期大学食物栄養専攻を除く。）新卒者の管理栄養士国家試験受験者数と合格率です。平成17年までは、管理栄養士養成大学（4年制）の卒業生は6科目が免除されていました（平成18年から免除はなくなります。）が、本学専攻科の数字は免除なしでの数字です。

卒業年度	新卒受験者数	新卒合格者数	専攻科合格率	全国平均合格率
16年度	26	14	53.8	25.3
15年度	24	11	45.8	15.8
14年度	21	12	57.1	19.8
13年度	25	17	68.0	20.9
12年度	27	11	39.3	21.4
11年度	28	13	46.4	22.7
10年度	18	12	66.6	30.1



● 栄養科学科で学んだことが生かせる仕事

	資格	職場	仕事の内容
卒業時に得られる受験の資格	管理栄養士	病院・老人福祉施設 児童福祉施設 食品関連企業	高度な専門知識により、病気の予防や治療に関わるチーム医療の一翼になうとともに、生活習慣病に対する予防などにより、地域の人たちの健康を保全する役割もある。
	食品衛生監視員	公務員	養成施設と指定されている大学で、必修科目を修得した後、厚生労働省から資格が与えられる。食品関係の施設を監視、指導する職務を担う公務員。任用されて初めてその資格を名乗ることができる。(取得予定)
	食品衛生管理者	乳製品・食肉製品メーカーなど	所定の科目を修得して卒業し、その資格に関連する職務についた場合、知事に届出書を提出する。乳畜肉・食品添加物及び特に衛生上の考慮を必要とする食品の製造、加工を行う施設で監督、指導の業務に当たる。(取得予定)
	栄養情報担当者 (NR)	流通業・食品製造業	受験資格は、栄養士・管理栄養士・薬剤師・保健師・看護師・臨床検査技師で、「サプリメント・健康食品」に関する適切な情報を消費者に提供する。
	栄養教諭免許	学校	所定の科目を修得すれば、都道府県から免許状が交付される。知育、体育とともに、望ましい食生活を営む力を身につける「食育」のために創設。(本学では認定申請準備中)
実務経験後得られる資格	介護支援専門員 (ケアマネージャー)	ケアプラン作成機関 介護老人福祉施設 介護老人保健施設	受験資格には細かい規定があり、「医療、保健、福祉分野の国家資格を持っている」ことも条件のひとつで、栄養士・管理栄養士も含まれている。また5年以上の実務経験が必要である。介護保険制度の中核として、要介護認定のための訪問調査を行い、介護サービス計画を作成する。
	日本糖尿病療養指導士	病院	看護師・管理栄養士・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士で、2年以上の実務経験があり、日本糖尿病療養指導士認定機構主催の講習会の受講修了証を取得していることが資格取得の要件。



次代が求める「栄養管理」のスペシャリスト

「栄養科学科」では管理栄養士養成とともに、「栄養管理」のスペシャリストを育成します。

幅広い社会から求められる現在。時代の流れとともに求められる「栄養管理」のスペシャリストを育成します。

知識と技術を生かし、チーム医療の一環を担う。

管理栄養士は、病院や施設などの栄養管理や給食管理が業務の中心。対して管理栄養士は、患者のベッドサイドまで行き、個人に合わせた食事支援を行うことができます。より、専門的な知識と技術を生かすことができます。今後、アメリカで定着している医師と看護師、薬剤師、管理栄養士が一体となったチーム医療が熊本でも取り入れられるようになると思います。そこで大切なのは、在学中に多くの実習を経験し、早く自分に合う勤務先を見つけること、目標となる方と出会うこと、人が好きで、コミュニケーション能力を備えていることなども重要だと思えます。また、インターナショナルな場に立つことも視野に入れ、英語力なども磨いてほしいですね。

GRADUATE INTERVIEW



管理栄養士
平成3年度 短大食物栄養専攻卒業
矢野 圭子さん
日本赤十字社熊本健康センター勤務

より深く、具体的に実践的な授業で念願の資格取得を現実に

GRADUATE INTERVIEW



管理栄養士
平成13年度 専攻科食物栄養専攻修了
野村 幸代さん
地域医療センター栄養科勤務

栄養士という仕事を目標にしたのは高校時代。「人間の生活において、食はなくてはならない大事なものの、関わり深いもの」ということを改めて考え、本学で栄養士を目指すことにしました。しかし、卒業を目前にした時、学生時代の時に管理栄養士の受験資格まで取得したいという思いが高まり、専攻科へ進む道を選びました。短大時代より授業の内容はさらに深く、実習はより具体的に実践的に。栄養士を取得するための研究論文では、夏休みも返上して研究室に通いました。おかげで念願の栄養士の学位も取れましたし、同じ研究室の仲間との絆が深まり、無事にやり遂げた自分に自信が持てるようになりました。現在、管理栄養士として病院に勤務。学生時代の知識を基礎に、現場に出てからも勉強の毎日です。当たり前のことですが、患者さんから身体や栄養のことを質問されたら、どんなことでもすぐに答えられるようにしたいと思っています。まだ現場での経験は乏しいので、プロとしての知識を先輩たちをお手本に学んでいるところです。

平成16年度決算報告

学校法人尚綱学園の平成16年度決算は、監事および公認会計士の法定監査を経て、平成17年5月26日の評議員会・理事会に報告し承認されました。その主要な計算書類は別表のとおりですが、学園の収支の概要について、消費収支計算書をもとに予算との対比でご説明いたします。
まず、収入において、学園の主要な収入源である学生生徒等納付金と補助金が予算を下回りました。これらにより帰属収入合計では、予算を919万円下回る21億9765万円となりました。この帰属収入とは学校法人の負債にならない収入のことで、本来に学校法人に帰属し純財産の増加をもたらす収入のことです。次に、この帰属収入から差し引くことになる基本金組入額は、幼稚園園舎の新築および周辺整備事業を全額自己資金で行ったことにより、5億3449万円に達し予算を1億1768万円上回りました。この基本金組入という学校法人会計特有の処理をしますと、消費収入の部合計は16億6316万円となり、予算を1億2688万円下回る結果となりました。
一方の支出では、学園全体で経費の削減に努めたことにより、消費支出の部合計で予算を6053万円下回る20億3174万円となりました。
これら全ての収入と支出を合計した結果、平成16年度の消費収支差額は3億6858万円の支出超過という厳しい結果となり、これまでの累積である繰越消費収入超過額も21億8824万円から18億1966万円へと減少することになりました。
自己資金による投資を行うことで、消費収支が大幅な支出超過に陥るといふ学校法人会計の特性はありますが、このことは別に学園全体の収支状況が年々悪化しているのは紛れもない事実です。私立学校の経営環境が一段と厳しくなる中で、魅力ある学校として存在し続けるための自己改革に真剣に取り組む必要があります。その上で、社会の変化を先取りして将来へ飛躍するための投資はこれからも続けてまいりますので、今後とも皆様方のご理解とご支援を切にお願いいたします。

学園事務局長 經理課

貸借対照表

(平成17年3月31日)

単位:千円(千円未満切捨)

貸借対照表の表。資産の部と負債の部の両方を示し、科目、本年度末、前年度末、増減のデータを記載している。

平成16年度決算報告書

消費収支計算書

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

単位:千円(千円未満切捨)

消費収支計算書の表。消費収入の部と消費支出の部の両方を示し、科目、予算、決算、差異のデータを記載している。

資金収支計算書

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

単位:千円(千円未満切捨)

資金収支計算書の表。収入の部と支出の部の両方を示し、科目、予算、決算、差異のデータを記載している。

監査報告書

学校法人尚綱学園 理事長 江口吾朗 様

私立学校法第37条第3項の規定に基づき、学校法人尚綱学園の平成16年度(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)における、業務及び財産の状況について監査を行い、その結果次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

(1)業務監査のため、理事会等への出席、理事及び業務執行部門からの業務の報告の聴取、理事会議事録等重要書類の閲覧、その他必要と認められた方法を用いて業務執行の妥当性を検討した。
(2)財産状況の監査のため、公認会計士島村研理氏から、私立学校振興助成法第14条第3項の規定に基づく監査の説明及び報告書(案)を受け、財産目録及び収支計算書、貸借対照表についてその正確性を検討した。

2 監査意見

(1)業務執行は、法令及び寄付行為に従い適法に行われており、指摘すべき不整の事実はないと認める。
(2)財産目録は、法令及び寄付行為に従い当法人の財産の状況を正しく示しているものと認める。
(3)公認会計士島村研理氏の監査の方法及び結果は相当であり、資金収支計算書(人件費支出内訳表を含む)及び消費収支計算書、貸借対照表(固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む)は、学校法人会計基準(昭和46年文部省令第18号)に準拠し、当法人の財政状態並びに経営状況を正しく示しているものと認める。

以上

平成17年5月18日

学校法人尚綱学園 監事 前田勝 監事 野村隆

SHOKEI Campus

◎尚綱短期大学附属幼稚園舎

自然の中に建つ木造の幼稚園で、豊かな心を育む
尚綱短期大学附属幼稚園が
熊本県賞を受賞。



～第11回熊本県木材利用大型施設コンクール～

今年3月に落成した附属幼稚園。熊本県木材利用大型施設コンクールで、見事熊本県賞を受賞しました。広々とした敷地には自然の雑木林や手造りの築山、体育館やプール、グラウンドを備え、平家建ての館内には10のクラスや木造のベランダや絵本室、遊戯室などがあります。審査において高く評価されたのは、「自然と建物がマッチしている」こと。永田敬園長は、「私たちは、就学前教育における環境の大切さを考えました。木の香りが漂う館内で心を和ませ、屋外では自然と関わりながら遊びのルールを作っていく。その中から生きる力、豊かな心を養って欲しいと思います」と話してくれました。



◎尚綱高校体育祭

圧巻は3年生の扇の舞、華やかに美しく。

10月2日(日)水前寺競技場にて秋晴れのもと、例年にない真夏日を記録したこの日最高の体育祭が開催されました。今年のテーマは「shining☆」にあわせ生徒たちは深刺とプログラムに参加していました。体育祭最高の見所はなんと言ってもマスゲーム。1年生は「尚綱ソーラン節vol.4」、2年生は「レッツ!!花笠音頭」、高校生最後の年を飾る3年生は「扇の舞 荒城の月幻想」、演技が終了すると演技した生徒はもちろん応援席の全員が感動に震えていました。また、各団のリーダーによる応援・指導など、その活躍には目覚ましいものがあり、優勝した賞団はもちろんの事、どの団の生徒たちも晴々とした笑顔で締めくくることが出来ました。



◎第4回 オール熊本小学生英会話暗唱大会

子どもたちの素晴らしい英会話を競い合う。

この大会は子どもの頃から英語に親しみ、国際理解を深め、自身の実力を図るためにスタートし、審査は自由・課題・帰国児童部門の3部門で行われます。今年で4回目となり、県下65校の小学校から79組132人の参加は、この大会への関心の高さがうかがえます。今年の学園大賞(グランプリ)には益城中央小学校の真田風花さん(6年、帰国児童部門)が選ばれ、その表現力と、発音は高い評価を受けました。



Event Report

予告 尚綱学園の日 2005年11月26日(土) 無日びぶれす広場にて開催
学園の姿を一般のみなさんに理解してもらうとともに、新学部・改組等の新しい尚綱学園をアピールしようというイベントです。来場された方々に尚綱学園の一日を体験していただき、すばらしさを理解していただきたいと思ひます。

予告 尚綱大学楡木祭 11月12日(土)10:30～ 11月13日(日)10:30～
尚綱短期大学秋陽祭 九品寺校地(家政科) 楡木校地(幼児教育科)
11月12日(土)10:00～ 11月13日(日)10:00～ 11月11日(金)9:00～ 11月13日(日)10:30～

◎尚綱大学・短大オープンキャンパス

県内外より多くの高校生が参加。
新学部、改組を大きくアピール。

7月30日(土)楡木キャンパスでは文化言語学科の4コースが模擬授業を展開、書道の実技、外人講師による講義、お昼時には軽食も用意され大変好評でした。幼児教育学科でもキャラクターを使った模擬授業があり多くの学生が真剣に受講していました。7月30日(土)・31日(日)九品寺キャンパスでは2日間にわたって開催。新学部、栄養科学科の説明会も行われた。また、食物栄養学科、総合生活学科では模擬授業とビデオや実験を加えた体験的な授業が好評でした。今回のオープンキャンパスには新しい尚綱大学への期待が高まり約1,000人の高校生が訪れ、熱い2日間となりました。



◎尚綱公開講座

多彩な講座に受講者の満足がありました。

社会貢献事業の一つとして平成2年から始まった「尚綱公開講座」は年々受講者数が増え、今年度は800名を越す申し込みがありました。メインテーマは、昨年に引き続き、「人間探求」とし、サブテーマを「豊かな生き方を求めて」と題して、7月20日(水)から28日(木)にかけて、6日間、12講座が開かれました。本校の講師陣だけではなく熊本大学、ソウル保健大学からも講師を招き、様々な視点から行なわれ、大変好評でした。



～平成17年度尚綱公開講座 開催日時と講座内容～

	9:30～11:00	11:10～12:40
7月20日 水曜	美食・過食は病の源 (医師の立場から) 熊本大学医学部講師 西山 崇六	疾患と食管理 (研究に即した食事) 尚綱短期大学教授 坂本 美代子
7月21日 木曜	単身者と家庭・学校・職場の食管理 尚綱短期大学教授 鎌 吉	地域に住む ～豊かな住環境創造のために～ 尚綱短期大学講師 井上 芳恵
7月25日 月曜	高齢者と家族 尚綱短期大学教授 大塚 洋子	上手な消費と生活経営 尚綱短期大学非常勤講師 川口 恵子
7月26日 火曜	IT社会の常識と義務 尚綱大学助教授 岡田 剛浩	やさしいWebページ作成入門 ※定員30名 尚綱大学講師 笠置 誠一
7月27日 水曜	韓国人から見た日本 ソウル保健大学講師 中川 明夫	ことばと脳のしくみ 尚綱大学講師 廣江 謙
7月28日 木曜	仮名の散らし書き入門 ～実技～ ※普通用紙準備 尚綱大学助教授 久多見 健	熊本のことを調べる ～実技～ ※普通用紙準備 尚綱大学教授 橋村 芳浩

◎尚綱コンサート

例年より盛況に卒業生も交え多彩な音楽の祭典。

今年も9月17日(土)、熊本県立劇場コンサートホールにて尚綱中学・高校、保護者会「育友会」、同窓会「花桜会」など総勢844名が参加して行われる「尚綱コンサート」が開催されました。オープニングは書道部が力強く書をしたため、琴演奏、コーラス、エアロビック、マンドリン部演奏など多彩な催しと華やいだ演奏が続き、最後には会場の皆様と「もみじ」の唱歌で感動のフィナーレとなりました。



トピックス

本学 国文学科書道コースの伊織洋一助教授(日展会友、49歳、熊本県出身)が第37回日展、第五科書部門で特選を受賞。書部門の応募は9,003点、内入選750点、その中で特選は10点と大変厳しい審査の中での受賞となりました。

尚綱学園にある絵画(2)

筆者の家には、一幅の鯉が描かれた掛け軸があります。この絵を描いたのは、高木古泉という人です。古泉は、「鯉の古泉」と言われ、鯉の絵を描いたら日本一と言われた日本画家でした。筆者にとっては、古泉と言えは、大変身近な存在でした。この古泉の鯉の絵が高校資料室に保存状態があまりよくないまま眠っていました。

どうして、古泉の絵が学園にあるのか、高校の歴史を綴っていくうちに分かりました。



高木古泉(名左直)は、明治十二(一八七八)年、菊池市七城町五海で生まれました。

幼少期を母の実家がかった菊池市西寺で暮らし、西寺小学校(現菊池小学校)を卒業しました。明治三四(一九〇二)年、熊本県立師範学校を卒業しましたが、在学中から作詞家の犬童球溪と親交がありました。同三八(一九〇五)年、東京上野美術学校(現東京芸術大学)図画科を中退しました。その後、尚綱高等女学校に赴任し、同四四(一九二二)年三月に退職しました。本校での勤務年数は、わずかなものでした。本校時代の古泉は、新しい図案の授業を展開し、教えを受けた生徒の作品が尚綱会誌の表紙に採用されることがありました。東京で暮らすようになつてから、花桜会東京支部同窓会には、亡くなる前年まで欠かさず出席し、時には得意の鯉の色紙などを配布しました。また、昭和十三(一九三八年)の五十周年記念展覧会には、絵画二点を出品し、「寒の鯉静に向きかへにけり」の俳句を投稿しています。

さて、尚綱高等女学校退職後の古泉の足跡は、明治四四(一九二二)年、菊池実科高等女学校(現菊池高校)で図画・美術を教えることになりました。そして、菊池郡の四つの学校を巡回し

ました。古泉の言によれば、この間「負担重過ぎるたる為身体を悪くして上京治療にかり」(尚綱第三九号)とあるように体調が相当悪くなつていました。病氣回復後、奈良中学校(現奈良高校)に二年、再び大正三(一九一四)年四月から同八(一九一九)年八月まで菊池実科高等女学校に勤務しました。それから台湾総督府の女学校二、三年、鹿児島県加世田の県立成淑高等女学校(現加世田高校)に転じて二年、そこで教鞭を執りました。それから、中国の旅順、遼陽、奉天、四平街など満州の地で絵の修業しながら旅をしました。そして、帰国後、熊本市水前寺公園の鯉を研究しました。また、中国の大連、北京、天津、南京、蘇州、杭州、上海の各地で展覧会を開きました。その後、熊本市六間町に画室を開いて、鯉の絵を描き、名古屋、東京に進出しました。福田平八郎、堅山南風に師事し、昭和二(一九二七)年、第十四回日本美術院(院展)に「遊鯉」で初入選しました。その後、明朗美術連盟展に出品しています。尚綱第三九号によれば、「院展に入選して五十歳にして初めて画壇の第一線に立ち若い人たちのしごをけずり茲に十年已に六十歳のチヂヤと相成白髪の人からそろそろ己のすきな絵をかき半分百姓でもして芋大根の生活でもしたいと考えており候」と花桜会に便りを送っています。

この便りには、水中遊鯉の墨絵が描いてあったそうです。大正十二(一九一三年)、画業に専念し、鯉の絵を専門に描き、「鯉の古泉」として有名になりました。日光を訪れた際、東照宮貴賓室の床の間に自分の絵が架設されていたことに感銘を覚えたこともあったようです。高校については、行幸記念講堂を永遠に飾るため、同窓会の懇願で一幅の鯉の絵を寄贈しました。また、お世話になつた故内藤儀十郎校長に捧げ、何かの時の御用に役立つようにと、揚柳観音像絵を寄贈しています。現在、この絵は二点とも花桜会で大切に保管されています。

昭和三八(一九六三)年、四月十五日、東京で死去しました。享年八五歳でした。この写真は、嘗て高校校長室に架設されていた鯉の絵です。現在資料室で保管しています。

(注)大連球溪(本名信隆、明治十二(一八七七年)人、市に生まれる。県立熊本師範学校三三(一九〇五年)東京美術学校(現東京芸術大学)卒業、新進高等女学校現新潟中央高校で「寒の鯉」二枚の展覧会を同席する。昭和十八(一九四三)年没、六十五。

六間町(現現在の南井町)の東園等にあり。

院展(日本美術院主催の展覧会、明治三三(一九〇八年)創立、大正三三(一九二四年)再開。

明朗美術連盟(川口春波、落合順風らが結成する。自由で七ツツな芸術)を目指す。

福田平八郎(大分県出身、東京工芸院卒業、美術院会員、京都府教育委員、文化功労者、文化勲章受章。昭和三八(一九六三)年没、八十五。

堅山南風(熊本県出身、横山大観の指導を受け、最高美術院同人となる。花鳥、魚類の描技に長じ、「目を見ざる魚」を著する。芸術院会員、日本美術院常務理事。文化勲章受章。昭和五五(一九八〇)年没、九三歳。

捨てたら得をする(エッセイ)

自動車や高級な家具、調度品を買い揃え、洋服や食べものが豊富である状態を幸せであることだと考える人もいるだろう。反対に「捨てたら得をする」失うことや他に与えることが自分の幸せにつながるということについて考えたことがありますか。他に与えるとお金や物は減っていきます。部品がなくなると機械やロボットは動かなくなりません。しかし人間には「与えたら徳を得る」「捨てたら得をする」という素晴らしい徳性、喜びがある。

清々しい挨拶、愛情、親切、やさしさ、ボランティアの精神などがそれです。「与えるは受けるよりも幸いなり」「挨拶人間に不幸なし」「情けは人のためならず」という諺もある通りである。

この世の中は単純な法則で動いていません。生きるには取り替えて「こた」と思う。何かを得るためには何かを失わなければならない。言い換えれば人の幸せを願えば人からも幸せを願ってもらえるということ

私たちが使っている石鹸、消しゴム、リソクは他のために自らを溶かし磨り減らして自分を無くしてしまうことによつて己の働き、役割を全うしているのです。与えることや捨てることに喜びを見出し人の悲しみや痛みが分かり木や花や虫にまで深い情けを注ぐことができるようになった時人間ははじめて人間らしくなると言われています。

心豊かな人間になるということはそんな濃やかな心遣いを生活の中で実践行動として身につけていく努力をすることである。やさしさと言うものは人から教えてもらうものではなく自分が受けたマイナスを我慢することです。目に見える豊かさだけが本当の豊かさではない。形や重さがなく手で触れることができない、目に見えないものの中に大切なものが数多く存在することを知っている人でありたい。

尚綱中学・高等学校長 川上清司

皆様のオリジナルエッセイの投稿を募集しています

オリジナルエッセイであれば、特にテーマや特定のジャンルまた、応募資格も問いません。本文800字前後にてお願いいたします。(随時募集)

応募の際には必ず氏名、住所、電話番号を明記してください。作品は本誌上への掲載をもつて発表と換えていただきます。

●作品の宛先・お問い合わせ

尚綱学園事務局 広報室宛 〒862-8678 熊本県熊本市九品寺2丁目6番78号
メールでの応募も受け付けております (メールアドレス) kohou@shokei-gakuen.ac.jp

本年六月二十六日の「はなしのぶコンサート」に
来場された長崎県の林田様より
お便りをいただきました。

前略 先日の「はなしのぶ」コンサートを聴かせて頂きました。このコンサートのことを初めてラジオ放送で知りまして、急ぎ「休暇村」へ宿泊を申込み出かけたわけですが、演奏の素晴らしさは勿論のこと、それよりも私共が感動しましたのは高校生の皆さんの様子でした。本当に「高校生らしい高校生」に巡り会えたのは久しぶりのこと、その感動をお伝えしたくペンをとりました。ありがとうございます。貴学園の教育方針に敬意を抱くものでもあります。来年の「コンサート」で又、生徒さんの姿を目にしながらの演奏を聴くことを今から楽しみにしています。末筆になりましたが益々のご発展を祈り上げる次第でございます。

